

## 第 655 回 新潟放送番組審議会 議事録

### — 議題 —

テレビ番組  
「東京 2020 みんなで応援！ 新潟HEROES」  
(放送日時：2020 年 2 月 22 日(土)午後 2 時 00 分～午後 2 時 54 分)



令和 2 年 3 月 25 日

**BSN新潟放送**

## 第655回新潟放送番組審議会

1. 開催日時 令和2年3月25日(水)午前11:00~

2. 開催場所 新潟市中央区 新潟放送 6F

3. 委員の出席

○委員側出席者 (敬称略・順不同)

委員長 古賀 豊  
委員 稲荷 善之  
委員 馬場 幸夫  
委員 渡邊 信子

委員 石坂 智恵美  
委員 小島 良子  
委員 三井田 由香

○審議番組事前レポート提出

副委員長 佐藤 元

委員 小原 清文

○委員側欠席者 (敬称略・順不同)

委員 高木 言芳

○放送事業者側出席者

社長 佐藤 隆夫  
メディア本部長 金田 博幸  
情報センター長 小湊 潤

専務取締役 島田 好久  
編成局長 荘部 秀治

<説明員> 情報センター テレビ制作部長 吉井 一善

事務局 阿部 基行 (編成局テレビ編成部長)

4. 議題

1 報告事項 令和2年4月の番組について (各局長)

2 審議事項 テレビ番組「東京2020 みんなで応援! 新潟HEROES」  
(放送日時: 2020年2月22日(土)午後2時00分~午後2時54分)

## 5. 議事の概要

佐藤社長のあいさつの後、各局長からの4月度番組報告に続いて、テレビ番組「東京2020 みんなで応援！ 新潟HEROES」について審議が行われた。

### ～番組審議委員の主な意見～

- 東京オリンピックの延期が決まり残念な状況ですが、アスリートの努力が伝わってきた良い番組だった。メインで取り上げられた服部勇馬選手のこれまでの苦しみや苦難を克服した話が監督から語られ服部選手の姿が伝わってきた。また、セーリングの富澤選手のパートでは、ルールや風の読み方など観戦のコツなどが分りセーリング競技の放送があれば、実際に見て応援したいと思った。
- 服部勇馬選手の高校進学の際に地元でなく強豪校の仙台育英高校に進学して飛躍した話や、トレーニングや2種類のドリングについて科学的側面も入れて説明していく良かった。メインの服部選手と他の選手の扱いに差があって、他の選手がおまけのように感じる部分があった。
- 新潟県出身の東京オリンピックに内定した選手や夢にチャレンジする選手を取り上げていて充実した内容だった。服部勇馬選手のチャレンジを後押しするため家業を継いだ三男やお守りの話など家族全体で勇馬選手を応援していることが伝わった。しかし、両親のインタビューが無かったのが残念。両親が、どのような思いで勇馬選手の背中を押したのか聞きたかった。
- 服部勇馬選手にスポットをあてたのは、県民ニーズを意識したものだと思う。番組の構成として服部選手をメインにしたのは良かったが、バスケットの富樫選手やセーリングの富澤選手の取り上げ方が中途半端な感じだった。最初にオリンピックに向けて頑張っている選手をコンパクトに紹介してから服部選手を中心に見せる形でも良かったのでは？
- この番組を見てオリンピックを楽しみにする人が増えたと思う。今度は、オリンピックを目指す子どもたちに向けて番組を作って欲しい。

### ～新潟放送 情報センター 吉井一善テレビ制作部長から～

貴重なご意見を頂き、ありがとうございます。

「みんなで応援」というタイトルをつけたものの、個人的にも放送をみてから服部勇馬選手以外がその他の選手を感じる部分があったと反省しています。

2月の放送は早いと思う部分もあったが、服部選手のマラソン代表内定が決まった良いムードの中で取材できたのは良かったと思っています。

取材をする中で服部選手の職人的でストイックな部分を感じることができ、私自身も勉強になりました。服部選手にもっと密着したかったが、いろいろなメディアから取材が殺到していて取材に時間の制約があり、密着取材が難しい状況でした。35kmの壁を克服した要因など密着取材が出来ていれば服部選手一人で1時間番組を作れたと感じていますが、またの機会にチャレンジしたいと思います。

また服部選手のご両親へのインタビューの件ですが、弊社を含め多くのメディアが服部選手のご両親にインタビューの依頼をしていましたが、全てのメディアに対し取材をお断りになっていたので、ご両親のインタビューを撮ることが出来ませんでした。頂いたご指摘を参考に、今後の番組作りに役立てていきたいと思います。本日はありがとうございました。

【文責・番組審議会事務局】

---